



- 第1回 大河ドラマ「風林火山」をめぐって 平成18年9月19日
講師/佐倉一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部长
樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長
- 第2回 もっと楽しくて、元気な街づくりを 平成18年10月23日
講師/久米えみさん ながのクラッセ会長
樋口敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー
- 第3回 スポーツによる街づくりを 平成18年11月21日
講師/鷺沢幸一さん アスレながの事務局長
室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事
- 第4回 写真で見る長野の街並み 平成19年1月23日
講師/清水隆史さん フォトグラファーほか
常盤昭二さん CMディレクター
- 第5回 健康と美容を保つために 平成19年3月22日
講師/虎羽里(トラバリ)ゼーラさん アーキュルヴェータ・健康セラピスト
- 第6回 環境と街づくり ばていお大門・TOiGOの設計に参画して 平成19年4月23日
講師/竜野泰一さん 株式会社エーシー工設計 取締役副社長【一級建築士】
- 第7回 信濃グランセローズの挑戦 平成19年5月21日
講師/木田 勇さん 信濃グランセローズ監督
- 第8回 スポーツマンシップの大切さ 平成19年8月29日
講師/荻原健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト
- 第9回 トウガランの尽きせぬ魅力/「農」による地域活性を探る 平成19年10月24日
講師/松島憲一さん 信州大学大学院農学研究科 准教授
- 第10回 命のバトンを渡す「ピオトープ」/長野市をピオトープネットワークシティに 平成19年11月14日
講師/松岡保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授
- 第11回 簡単・おいしい・オシャレ/わたしのレシピができるまで 平成20年3月26日
講師/浜このみさん クッキング・コーディネーター
- 第12回 あなたのからだは「築何年」ですか? 平成20年7月14日
講師/角本浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士会会長
- 第13回 アメリカ生活で感じたあれこれー変化に対して前向きになることの大切さー 平成20年8月19日
講師/針谷友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)
- 第14回 市役所第一庁舎及び長野市民会館の在り方を考える 平成20年9月16日
講師/水野守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長
- 第15回 長野ハルセイロー優勝報告&JFL昇格への挑戦 平成20年10月29日
講師/バドゥ・ピエイラ監督、薩川了洋コーチ、真富信宏キャプテン
- 第16回 農業再生とブランド化 平成20年12月3日
講師/町田良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事
- 第17回 地上の楽園は馬の背にあり 平成21年2月18日
講師/中山 修さん 中山法律事務所 弁護士
- 第18回 循環備蓄型の農業の実践ー宇宙のリズムにあった農業で一次産業の再生を試みるー 平成21年6月3日
講師/塩澤研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 (株)水輪ナチュラルファーム代表取締役
- 第19回 郷土を包む「おやき」 平成21年7月14日
講師/小出陽子さん (同)ふきっ子のお八起 代表/信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー
- 第20回 信州の伝統から生まれる食文化ー漬物の新しい風ー 平成21年9月2日
講師/宮城恵美子さん (有)宮城商店専務取締役/木の花屋
- 第21回 飯綱高原を、もっと住みよく、おもしろく! 平成21年11月24日
講師/志村雅由さん NPO法人 飯綱高原よっこらしょ/代表理事
- 第22回 JFL昇格に向けて 平成22年3月17日
講師/薩川了洋さん AC長野ハルセイロ新監督
- 第23回 先人の知恵を受け継ぐ〜トチの実、雑穀、あんぼ〜 平成22年5月25日
講師/石沢一男さん (有)田舎工房 代表取締役
- 第24回 3度目でつかんだオリンピック出場 平成22年7月28日
講師/新谷志保美さん バンクーバーオリンピック代表 (株)竹村製作所 勤務
- 第25回 逃げないスケルトン ～夢と感動と勇気を～ 平成22年9月15日
講師/越 和宏さん スケルトン競技3大会オリンピック日本代表 (株)システックス所属
- 第26回 Go to J ~J~を長野に… いよいよ地域決勝大会!~ 平成22年10月25日
講師/鈴木政一さん 長野ハルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長
- 第27回 グランドデザインの視点で「信州の食」を考える 平成22年11月30日
講師/千村尚司さん 千村ブレイン代表・ソムリエ
- 第28回 ご利益のある町づくり 平成23年1月26日
講師/川崎史郎さん フリーライター・市民記者ネット代表
- 第29回 防災と危機管理 平成23年6月1日
講師/安藤長一さん 篠ノ井消防署署長、緊急消防援助隊長野県隊長(第二次派遣隊)
- 第30回 江戸のエコロジストー茶ー 平成23年8月30日
講師/マブソン青眼さん 俳人・比較文学者
- 第31回 Waを生かしたまちづくり 長野はもっと元気になる 平成23年9月28日
講師/井上裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員

- 第32回 メディアから見た長野 平成23年10月19日
講師/田幸淳男さん 信越放送取締役相談役
- 第33回 旅の楽しさと長野の魅力で世界をむすぶ 平成24年1月31日
講師/飯室織絵さん 観光客向けゲストハウス「1166/バックパッカーズ」運営
- 第34回 神輿で街の元気を呼び覚ませ 平成24年2月28日
講師/相原 哲さん ながの町神輿連合会武睦会 会頭
- 第35回 長野とオリンピックレガシー 平成24年3月26日
講師/小林 亨さん 日本オリンピック委員会(JOC)勤務
- 第36回 すべてが一丸となって*ながのの宝もの。をJへ 平成24年4月24日
講師/薩川 了洋さん AC長野ハルセイロ監督
- 第37回 信州の野鳥たち 平成24年8月31日
講師/小宮山義光さん 日本野鳥の会長野支部会員
- 号外 門前まち花遊歩 一牛に引かれて善光寺参りー 平成24年9月1日

- 第38回 見る 学ぶ 体験する 自然農法 平成24年9月27日
講師/塩澤研一さん 農業生産法人水輪ナチュラルファーム代表取締役/(財)いのちの森文化財団 副代表理事

- 第39回 善光寺表参道と中心市街地のWi-Fi計画 平成24年10月25日
講師/仮田達男さん NTT東日本 長野支店長

- 第40回 しなの鉄道長野以北延伸と営業戦略 平成24年12月6日
講師/山田 隆さん しなの鉄道(株) 専務取締役

- 第41回 自然との共生 平成25年2月28日
講師/藤岡牧夫さん イラストレーター・絵本作家

- 第42回 花は人を育てる 平成25年4月9日
講師/矢澤秀成さん 園芸研究家/ながの花と緑そて人を育てる学校校長

- 第43回 人と組織の笑顔の創造 平成25年5月31日
講師/近藤京子さん カウンセラー/NPO法人「わくわく志事研究所」所長

- 第44回 信州の分水嶺 ~山と川と里~ 平成25年8月22日
講師/栗田貞勇さん 写真家

- 第45回 長野市の魅力と不動産取引の発展性 平成25年11月20日
講師/鴨志田 明弘さん 野村不動産アーバンネット株式会社 企業不動産部専任部長

- 第46回 地域におけるバイオマス活用について 平成26年1月29日
講師/天野 良彦さん 信州大学工学部物質工学科教授

- 第47回 AC長野ハルセイロー 私のチームマネジメントについて 平成26年3月3日
講師/美濃部 直彦さん AC長野ハルセイロ監督

- 第48回 わたしにとってのボランティア 平成26年4月16日
講師/丸田 勉さん 脚本・演出家 森の家 林りん館館長

- 第49回 金沢の未来と長野へのエール 新幹線で結ぶ金沢と長野の絆 平成26年5月26日
講師/浅野 邦子さん 株式会社 築一 代表取締役会長

- 第50回 取材を通してみた長野の魅力 ~長野をもっと元気に!~ 平成26年10月8日
講師/平沢 幸子さん 長野朝日放送 アナウンサー

- 第51回 チームマネージメント 平成27年1月19日
講師/本田 美登里さん AC長野ハルセイロ・レディース監督

- 第52回 本物のおもてなし ~加賀屋の経営理念とビジョン~ 平成27年3月17日
講師/小田 與之彦さん 株式会社加賀屋 代表取締役社長

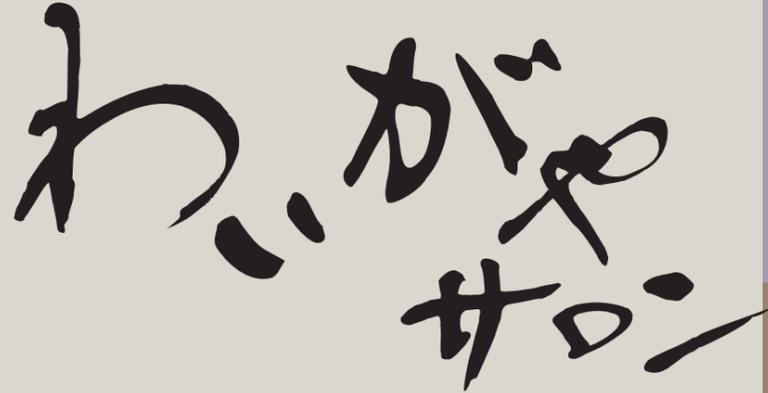
- 第53回 地域の元気をつくる「成長企業」は、ここが違う!~地方の中規模企業が成功するための法則とは?~ 平成27年7月1日
講師/廣井 紀文さん 株式会社ディーテス 代表取締役社長

- 第54回 長野から宇宙へ! ~ローカル企業のチャレンジ~ 平成27年8月25日
講師/羽生田 豪太さん 株式会社羽生田鉄工所 代表取締役

- 第55回 食を通じて発見 知られざる長野の魅力! 平成27年10月8日
講師/中島 麻希さん 1級フードアナリスト



NUPRI
Nagano Urban Policy Research Institute
NPO法人 長野都市経営研究所
〒380-0834長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F
TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166
www.nupri.or.jp
e-mail: nupri@nupri.or.jp



通信

Vol. 56
2015.11



梶の葉。
湯福神社含むスワフ大社社の御神紋はこの葉がモチーフ

第56回

摩訶不思議！長野の神社の靈感の世界

平成27年11月17日(火) 18:00~20:00

講師／齋藤 安彦さん 宮司

■座長：岩野 彰 場所／NUPRI事務所 TEL.026-235-7911

山々が錦から枯色へ変わる霜月半ば、講師にお迎えしたのは、齋藤安彦宮司。過日(9/10)、NUPRI「第5回ここ掘れ！長野調査隊」にて「摩訶不思議！南北一直線に並ぶ神々！」をご案内いただいた時にも増して奥深い世界が展開しました。

68代目の惣太夫

我が家は先祖代々宮司を務めて、学問的には江戸時代に本居宣長、平田篤胤が提唱した国学の系譜を受け、國学者とも呼ばれます。国学とは、我が国の古典を研究し神代からの思想・文化を明らかにする学問であり、考古学・風俗・民俗、諸外国の文化等も総合的に究める学問です。よって東京は渋谷の國學院大学に、先々代・先代・私と学び、長女は現在在学中です。家に伝わる家系図では本姓を金刺(かなさし)と言い北信地方の郡司を務めていたとあり、私は68代目に当たり、第三者の残した記録には私より31代前の「齋藤惣太夫盛堯」の名が長禄2(1458)年にありますので、少なくとも以前より長野の地にて活動してきたことが容易に予測できます。通称は「惣太夫」(そうだゆう)。惣は総と同意で全体のまとめ役。太夫は官位が五位の神官の別称です。私共の世界は世襲ですので、100年前200年前の話を当たり前のように、家族・親族、近所のおじちゃんおばちゃんから聞かされて育ちました。いわゆる口伝、ナマの人から人への語り伝えます。これが世襲の強みです。まあ、後は無理せず日々の生活を送ってきたので、何とか神のご加護で生き延びております。

ウラナイ師、オンミョウ師

先日別の講演終了後、うら若き乙女より「良い占い師と悪い占い師の見分け方を伝授してください」と質問されましたので、即答しました。「誰でも簡単に見分けることができます。悪い占い師は人の不安に乗じ様々なモノを売りつけます。良い占い師はそのようなモノは売れません。だからこそ『ウラナイン』(売らない師)なのです」と。

次のQ「陰陽師とコンタクトを取ることができますか?」。A「できません。官職である陰陽師は既に存在していません。本来、陰陽師とは太政官中務省陰陽寮に勤める技術官僚で、天文、気象観測・暦の作製・時刻の測定・占卜等を司っていましたが、職制は明治3年に廃止されています。よってその名を使われている方は、ナンダカナァ」

パワースポット

その昔、大陸に面した日本海側こそ表日本であり、北陸を中心にコシ(越)族・山陰にイズモ(出雲)族・北九州にあズミ(安曇)族がおり、交流の深い一種の共同体であったとされています。神話に登場する「大国主命」は、古代日本におけるこの緩やかなつながりの原日本人(縄文人)の3部族のリーダーです。やがて天孫族(天皇家系の先祖・弥生人)が、おそらく南方から九州、畿内へと勢力を拡大。大国主命に国護りを求め、ここで大国主命はいくつかの条件を確保し、引退されます。一つに幽世(死者の世界)の支配権。もう一つは、巨大な神殿を建て敬意を払うこと。こうして創建されたのが出雲大社です。鎌倉時代まで高さ50メートル規模の神殿があったことが確認されています。こうして長男の八重事代主命(やえことしろぬしのみこと・通称エビス様)は、条件を承諾。次男の建御名方命(たけみなかたのみこと・通称おスワ様)は、反発。出雲の稲佐の浜から諏訪湖の辺まで抵抗を続け、彼の地で落ち着かれ、やがて諏訪大社に治まり、信濃国の守護神とされました。このような事柄から信州は昔、和田峠の黒曜石の全国伝播も踏まえ縄文系のこだわりが強かったのかなと考えられます。

NUPRIが今春の善光寺御開帳にあわせて作成した「善光寺ゆかり、隠れたるパワースポットめぐり」のパンフ



さいとう やすひこ 昭和35年1月長野市で代々神職の家に生まれる。大学卒業後、諏訪大社勤務を経て帰郷。現在、市内22社の宮司のほか長野県神社庁長野支部長、法務省人権擁護委員、上西之門町区長等も務める。

さて、身近なパワースポットといいますが各自の氏神様が本来そうですが、ここでは「善光寺七社」(湯福・妻科・加茂・柳原・木留・美和・武井神社)の説明をします。

湯福神社はご祭神であるおスワ様の、特にアラミクマ(荒御魂)と呼ばれる、常に新鮮、清浄で積極的に作用する荒々しい強い心を持った魂が祀られておりますので、新規事業を興す時、強いパワーが欲しい時等々、ここイッパツのご利益を賜りたいと願う時、参拝されると良いと思います。また境内には、善光寺開祖本多善光の墓と伝わる古墳があります。國學院大学の発掘調査によると、朱に塗られた木棺には木炭が敷き詰められ、成人男性の一体の遺体には直刀・馬具・管玉・須恵器等の副葬品が添えられておりました。西暦700年前後のものとされ、昔は数々の副葬品の出土があったため、近隣からは「お宝塚」とも呼ばれていました。このようなことから湯福神社は善光寺守護神・氏神としての性格が強く、天台宗・浄土宗それぞれ参拝にいられます。平成28年10月10日には御柱祭が盛大に行われますので、その節はご協力願います。

妻科神社は、長野県出身の女神様「八坂刀売命」(やさかとめのみこと・おスワ様のお后)をお祀りします。ヤサカの八は末広・無限大を表します。信州にはたくさんの坂道・山道・峠・街道がありますが、そこで魔物や事故にあわないようにお守りいただく神様ということで、交通安全・旅行安全、また道はどんどん伸びていくということから、道開き・開運の女神として信仰されています。

加茂神社は、病気平癒。木留神社は、水難除け。柳原神社は、災難厄祓。など。

禁忌(タブー)と迷信

妻科は今でもツマナシと読む人がいます。それは昔、ツマは「夫」と書いたことから、女神様一人で神社でお過ごしになり夫無し(つなまし)ではご不自由ですねと、里人が慮り、花嫁行列は遠慮して鳥居の前を通らなかつたという。これは、迷信。

禁忌とは、実際の経験・体験に基づく行動で、理にかなっていません。鬼門がその例でしょう。鬼門、すなわち北東の方角は強い冷気が吹き込みます。ここに水廻り、つまり台所・風呂・便所を設けると、冬は特に寒くなるので、脳・心臓など健康被害が高まるリスクが強くなる。そのようなことは回避する経験こそが、タブーを冒さないこと、と言えます。「210日」も漁師・農民の経験値で、節分より数えて210日目には台風が来襲する確率が非常に高いので注意を促すものです。

風水とは、風の流れを読み水の流れを知ることにより、どこが風土の総合関係により住居(陽宅)・墓所(陰宅)に適するか否かを判ずる、まちづくりのための歴史とした学問です。ここ2、30年前から流行っているプチ風水は、都市学ではなく家の中や持ち物に無理やり押し込めた、新たな迷信。大安・仏滅等の六曜も、大東亜戦争終結時より流行した根拠のない新しい迷信です。以前からあったことはあったのですが、「仏滅」は「物滅」と表記されていました。その日に家を建てると三軒両隣を滅ぼすという「三隣亡」等と共に、気にしなくてもよい迷信です。

先祖・先輩の思い

先ほどの「善光寺七社」の記述は寛政7年出版の「善光寺如来略縁起」からの出典で、他に七清水・七池・七塚・七小路・七院・七橋と都合四十九カ所が善光寺界隈名所としてありますが、それ以前より存在した旧所・名物だったようです。先人たちは長野に来た人をどのように留め置こうか、どうやってゆっくり滞在してもらおうか、はっきり言うと、昔からお金を落としてもらおう算段をしていたのです。略縁起はそのためのガイドブックでした。

名所の中でもやはり七社が古くからあり、2,200~2,500年前の箱清水式土器が出土した(湯福神社)、風鎮のため691年に朝廷から使者を遣わされたこととされる(妻科神社)、犀川・千曲川による水運が栄えたことを知る(木留神社)、大本願と関わり深い(加茂神社)、川土手を守る柳並木が続いた災厄祓いの(柳原神社)など、まさに長野の歴史を教えてくれる場所でもあります。

まず、伝統・文化・歴史を地元の間人が知ることが大切です。

神社には時代を超越する「力」が生じ、優しい和やかな「気」が流れています。お参りをして、祓いを受けることにより、神のパワーを頂戴します。

昨今、パワースポットに詣で、御朱印を貰うことが流行っていますが、何も遠くに行かなくてもパワースポット(神社)はすぐ近く、地元にあります。

終了後、話題は前週パリで起きた事件、他者・他宗教・霊魂への敬意、「和をもって貴しとなす」を説いた聖徳太子の真意・時代背景、等々に及び、続きはまたの機会に託されました。



箱清水に鎮座する湯福神社の神紋「梶の葉」にまつわるエピソード：神社の後方にある長野西高校の校章が梶の葉(神社の紋)なのは、初代校長渡辺敏が3代前の安則宮司との深い交流・友情があったため



妻科神社。水内郡を開発された神、妻科姫を祀るのは当社だけ。長野市内で一番古い神社のひとつ

